働く女性のワーキングスタイル発見マガジン

Actaleia

www.actaleia.com

October 2011
Vol.21
アクタレイア
無料

仙台から元気を!

Working × Woman / 齋藤 由布子

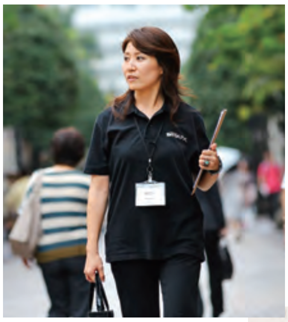
Working × Woman ／ 齋藤 由布子

仙台から元気を！

震災から半年がたち、少しずつ活気が戻ってきました。
それでもまだまだ長い時間がかかりそうです。
今回は、仙台市中心部の元気が震災復興を早めてくれるはず…、
そんな思いをもって「仙台なびっく情報ステーション」で働く、
齋藤由布子さんにお話を伺ってきました。

震災後のボランティア活動

現在、仙台なびっく情報ステーションで、商店街のお店の取材やイベントの企画などを担当する齋藤さん。「もともとは管理栄養士なんです」と伺い、ちょっと驚きました。「震災後、何か役にたちたいとツイッターやミクシィで情報発信をしたり給水に困っている方のお手伝いをしたり…その後、派遣栄養士としてボランティア活動に参加しました。」約3ケ月にわたり、石巻・気仙沼と被害の甚大な地域で住民の皆さんの健康をサポートしてきた齋藤さん、



profile

仙台なびっく情報ステーション／齋藤由布子（さいとう ゆうこ） 1969年、仙台市出身。管理栄養士として、老人ホーム、病院、学校など様々な場で活躍。2年前からフリーの栄養士として関東関西などに活動の場を広げてきた。震災後、復興支援につながる仕事がしたいとこのプロジェクトに参加。仙台市中心部商店街の取材やイベント企画などを担当。温泉と蕎麦が最高の癒しと語る、2児の母。

「仙台なびっく情報ステーション」を紹介します！

仙台市中心街には９つの商店街があるのをご存知ですか？「仙台なびっく情報ステーション」は、仙台中心市街地を彩る個性的な商店街の魅力を伝える場として、2011年８月3日にオープンしました。

商店街を紹介しています

Sendai Navic

どこにどんな商店街があるの？ どんなお店があるの？ お店以外に見所はあるの？ そんな疑問に、なびっく情報ステーションではお客様にあわせてお応えしています。

スタッフさんに直接聞いてみよう！

働きウーマンで紹介した齋藤さんのように、各商店街をまわって情報収集をしているスタッフさんがほかにもいらっしゃいます。仙台なびっくの窓口で、知りたいと思っていることを直接聞いてみましょう。穴場情報もあるかもしれませんよ！

歴史や特色の展示を見て楽しもう！

仙台なびっくでは、パンフレットやチラシを置くだけでなく、各お店で取り扱っている商品などをお借りして展示。9商店街の情報を入れ替えて「商店街weeks」としてご紹介します。さらに興味をもって各商店街を訪れるための予習ができます！

デジタルサイネージをさわってみよう！

仙台なびっく情報ステーション入口に設置されたデジタルサイネージ。デジタルサイネージって？ テレビの大きな画面に直接タッチして商店街の情報をゲットするマシーン…そんなふうに思ってください。おトクなクーポンの印刷もできます！

商店街をさらに楽しくします

Sendai Navic

仙台なびっく情報ステーションでは、商店街の紹介だけでなく様々なイベントも企画します。

なびっくでの様々なイベント！

商店街のイベントと連動した独自のイベント開催、お店の方が講師となる特色ある内容のセミナーも開催するそうです。先日取材に伺ったときにも「なりたい眉になる！ ～眉が第一印象を決める～」として一番町四丁目商店街にある「コスメサロン美楽」の菊池さんを講師に迎えたワークショップが開催されていました。

実際に商店街を歩いてみよう！

それぞれの商店街を歩いてまわる、商店街にぎわいガイドツアーを企画開催します。ここの商店街の由来は？どんなお店があるの？約２時間で商店街をひとまわりするツアーです。

お得なクーポン券がもらえる！

入口に設置されたデジタルサイネージでは、商店街の情報に加えおトクなクーポンももらえます！

「仙台なびっく情報ステーション」は2011年12月31日までの期間限定にてオープン。短い期間で盛りだくさんの情報が得られますので、お気軽に、何度でもお立ち寄りください！

仙台なびっく情報ステーション

仙台市青葉区一番町四丁目4-35　TEL：022-748-5871
OPEN　10:00～CLOSE 19:00（無休）
URL：http://sendai-navic.com/

商店街についての詳細については仙台なびっくのHP（上記URL）または情報ステーションまでどうぞ！

「仙台なびっく情報ステーション」は仙台市の「中心部商店街活性化プロジェクト」事業の一環として運営されています。情報ステーションの運営を中心に、商店街を対象としたガイドツアー等のイベント実施やストリート広告等の実証実験を通じてその課題を検証し、仙台市が昨年策定した中心部商店街将来ビジョンの実現に向けた足掛かりをつくります。

復旧から復興へ…、次のフェーズでは自分に何ができるだろうかと考えていたときに、今回のプロジェクトに出会いました。「仙台市中心部商店街の元気は震災復興につながります。復興の役に立ちたいとこの仕事につきましたが、ボランティア活動に参加したからこそこのような想いになったと思います」。

経験を活かして仕事ができる

商店街を訪れるお客様の様々な要望に応えることができるようにと、齋藤さんは日々商店街に出向き情報を集めています。飲食店を訪問するときには管理栄養士の経験から話題をつくったり、物販のお店を訪問するときには震災の被害や商品ひとつひとつに目を向けて質問をしたり、「自分の経験がコミュニケーションツールになっています。」という齋藤さん。

日々あらたな出会い

「店長さん・社長さん達とお会いすると、商売のこと、街づくりへの想い、仙台の経済についてなど深いお話を伺うことができます。これを、仙台なびっくを訪れるお客様にも伝えていきたいですね。日々のあたらしい出会いが、自分も街も元気にしてくれていると思います」。

仙台の中心部の復興は被災地全体の復興にもつながる。だからこそ仙台なびっくから元気な情報を発信していきたい、これは仙台なびっくで働く皆の共通の思いでもあるのだそうです。

※仙台なびっく情報ステーションとは、仙台市青葉区一番町四丁目商店街に設置された商店街の情報発信地です。

Message
for Working × Woman

震災以降、「ピンチはチャンス」だと何度も自分に言い聞かせてきました。常に前進することを考えていれば難関も乗り越えられる、それが自分の自信にもつながる…私は、いろいろな失敗経験から、そう思えるようになりました。皆さんも、自分の力を信じて進んでください。